

映画「カンタ！ティモール」 上映・講演会

The screening of "Canta! Timor"



監督：広田 奈津子
助監督/音楽監督：小向 サダム
監修：中川 敬 ソウル・フラワー・ユニオン
南風島 夢 野村浩一 藤原ヒロシ
スチール：小幡文人 / 藤井保彦
ドキュメンタリーカラー/DV/110分/4.3/ステレオ
2012年東ティモール・日本/日・英・アトーン語
字幕/日・英・仏・アトーン語/自主制作・初監督作品
公式サイト www.canta-timor.com

舞台は南海に浮かぶ神々の島、ティモール。
ひとつの歌から始まった運命の旅が、音楽あふれるドキュメンタリー映画となった。
この島を襲った悲劇と、それを生き抜いた奇跡の人びと。その姿が、世界に希望の光を投げかける。
当時 23 歳だった日本人女性監督は、人びととの暮らしの中で現地語を学び、彼らの歌に隠された
本当の意味に触れてゆく。そして出会う、光をたたえるまなざし。詩のようにつむがれる言葉の歌々。
それは観る者の胸をそっと貫き、決して消えない余韻となる。
日本が深く関わりながら、ほとんど報道されなかった東ティモールの闘いをとりあげた、国内初の長編。
自主映画ながらも感動は国境を越え、5万回100万所以上の試写会で会場が心を震わせた、愛すべきエチュード。

人類はひとつの兄弟なのさ
父もひとり、母もひとり
大地の子ども
憎んじやだめさ、叩いちやだめ
戦争は過ちだ、大地が怒るよ。

3.11以降の日本人の生き方のヒントが、この映画にはつまっている。



STORY 東ティモールで耳にした、ある青年の歌。日本帰国後もメロディが頭に残って離れない。

監督たちは青年を探すため高へ戻る。そして一つの旅が始まった――

「ねえ仲間たち ねえ大人たち 僕らのあやまちを 大地は知っているよ」

歌はこう始まっていた。

直接的な言葉を歌えば命に危険が及ぶ、インドネシア軍事統制下にひっそりと歌われた歌だった。

青年に連れられる、監督たちは島の奥へと入っていく。

そこに広がるのは、精霊たちと共にある暮らし。青い海、たわわに実るマンゴー、はじけるような笑顔の人々。

常夏のおおきな太陽に照らされ、深い影を落とすのは、人々の命を奪った軍事侵略。

報道にのらない地下資源ビジネス、日本の隠すべき行動。

3人に1人が命を落としながら、彼らが守りたいもの――

「悲しい。いつまでも悲しみは消えない。でもそれは怒りじゃない。怒りじゃないんだ。」

「人は空の星々と同じ 消えては 空を巡り また必ず 君に会える」

弾丸が飛び交う中、人々は命をわけるように助け合い、そして笑い、歌った。

大地に生かされ、輪になって踊る、輪になって踊る、速く懐かしい風景。

いつのまにか、ティモールの旅はそっと監督たちに関わってくる。

愛すべきふるさと、日本の島々の姿を――



日時：2019年11月30日（土）14:00- 開場
場所：名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール
アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車2番出口
Date: November 30th, 2019 (Sat) Venue Opening: 14:00-
Venue: Lecture room 2, Graduate School of
Environmental Studies 3F, Nagoya University
Access: <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/english/access/index.html>

- 14:30-16:30 映画上映
Screening with Japanese and English subtitles
- 16:30-16:40 休憩 Break
- 16:40-17:10 映画監督広田奈津子氏による講演
Lecture by Natsuko Hirota (Movie director)
- 17:10-17:20 質疑応答 Q&A



広田奈津子

南山大学スペイン語科卒。故郷での森林伐採に胸を痛めたことから環太平洋の先住民に関心を寄せ、東ティモールに出会う。2002年、23歳で初めて同国を訪れ、青年アレックスの歌を耳にし、後にその歌の背景を追いかけた旅が本作品となった。現地では人々と寝起きを共にしながら、山奥の集落を多く訪ねて古来の文化を取材。現地語を学び、後半では通訳を介さずに撮影が可能になった。

参加無料 Free Admission
事前登録不要

Preliminary application not required

※託児希望の方は下記メールアドレスまでご連絡ください

問い合わせ Contact: agnes2aisha@gmail.com

主催：名古屋大学環境学研究所地理学講座

カンタ！ティモール上映・講演会実行委員会

後援：科学研究費助成事業「南洋地理学の

系譜と現代地誌・地域研究への意義」

(課題番号：19H01382)

名古屋大学

大学院環境学研究所地理学講座

Graduate School of Environmental Studies

Geography Course

